

「中央アジア＋日本」対話行動計画の進捗状況に関する報告 (日本)

2010年8月7日

本報告は、2006年6月5日に東京で開催された「中央アジア＋日本」対話第2回外相会合において採択された「行動計画」の各分野における、これまでの行動・協力の代表例をまとめたものである。

1. 地域内協力

(1) テロ・麻薬対策

- 2005年10月にウズベキスタンで、06年7月にカザフスタンで、及び08年9月にキルギスで、中央アジア諸国の治安・情報関係者と警察庁との間で治安当局者間協議を実施した。
- 2008年から、中央アジア5か国の専門家を対象に、テロ・麻薬対策をテーマに刑事司法研修を継続して実施している。
- 2008年に、EUと共同でタジキスタンの税関関係者を対象とする国境管理能力支援研修を実施した。
- 2009年及び2010年に、地域のテロ情勢に関する意見交換及び連携強化を目的として、中央アジア諸国及びその周辺国の専門家を日本に招聘し、外務省・警察庁共催で地域テロ協議を実施した。
- 2009年3月に、タジキスタン、トルクメニスタン及びキルギスで実施される麻薬対策及び国境管理強化支援プロジェクトに対し、OSCEを通じて272万ユーロを拠出した。
- 2010年3月に、ウズベキスタンに対し、国境税関大型貨物用検査機材整備計画(第一次)に係る4.67億円の無償資金協力を実施した。

(2) 貧困削減・保健医療

- 2006～2009年度に、中央アジア諸国の保健医療改善や教育を通じた貧困削減のため、計116件総額約9.15億円の草の根・人間の安全保障無償資金協力を継続して実施してきている。
- 人間の安全保障基金を通じ、国連機関が実施する①トルクメニスタンにおける難民及び現地コミュニティのための社会サービス等の質の向上(約124万ドル、2006年8月承認)、②カザフスタンのセミパラチンスク元核実験場における人間の安全保障の推進(約203万ドル、2006年12月承認)、③タジキスタンにおける雇用創出及び移民管理改善を通じたコミュニティ開発(約110万ドル、2007年4月承認)の各プロジェクトに対する支援を実施した。
- タジキスタンに対し、UNICEFと連携して2004年～2008年に母子健康改善のため

の機材供与を実施し、2005年～2009年に、感染症対策の特別医療機材の供与を実施した。

- ウズベキスタンに対し、2007年8月に産婦人科研究病院における医療機材整備計画のため3.67億円の無償資金協力を実施し、2009年2月に国立障害者リハビリテーション・センター整備のため4.41億円の無償資金協力を実施した。
- 2010年6月に、タジキスタン及び周辺国のポリオ対策支援のため、国連児童基金(UNICEF)を通じ、20万ドルの緊急無償資金協力を実施した。
- 2010年6月に、キルギス南部における民族衝突により発生した難民・国内避難民に対する支援のため、赤十字国際委員会(ICRC)及び国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)を通じ、50万ドルの緊急無償資金協力を実施した。

(3)環境保護

- 2006年10月～2010年に、カザフスタンにおいて、地球環境基金や緑の募金の助成を受け、NPO法人「市民環境研究所」がアラル海旧湖底砂漠での植林事業を実施した。
- 2007年から、キルギスにおいて、バイオガス技術の普及に向けた技術協力プロジェクトを実施している。
- 2008年度に、ウズベキスタンにおけるアラル海植林用農業機材整備のための草の根無償協力を実施した。
- 2010年2月、タジキスタンに対し太陽光を活用したクリーンエネルギー導入のための4.5億円の無償資金協力を実施した。

(4)防災

- 2006年12月、中央アジア4カ国から青年防災行政官4名を本邦に招聘し日本の防災関連機関との協議や視察を実施した。
- 2006年から、中央アジア諸国の中央政府及び地方政府の実務レベルの行政官を対象に、日本での防災行政研修を継続実施している。
- 2010年4月、中央アジア諸国の専門家を招き、中央アジア地域の地滑りモニタリングのセミナーを実施した。

(5)エネルギー／水

- 2004年以降、中央アジア諸国を対象にした水利組合研修を、2006年度以降、地方都市給水に関する研修を実施している。
- 2010年5月、ウズベキスタンに対し、タリマルジャン火力発電所増設のための274.23億円を供与限度額とする円借款を実施した。

(6)貿易・投資

- 2006年度から、中央アジア諸国の財務省等の若手幹部候補生を日本に招へい

し、財務総合政策研究所が財政・税制等に関する約1か月間の夏期セミナーを実施している。

- 2006年度から、中央アジア5か国を対象として、関係国際機関とも協力しつつ関税政策・税関行政分野での研修を毎年実施している。

(7) 輸送

- 2008年5月、タジキスタンに対し、クルガンチュベードウスティ間の道路改修のための無償資金協力を実施した。
- 2009年1月、タジキスタンに対し、ドウスティーニジノピャンジ間の道路整備のための13.24億円の無償資金協力を実施した。
- 2009年2月に、キルギスに対しチュイ州橋梁掛け替え計画に係る6.35億円の無償資金協力を実施した。
- カザフスタンに対し、2010年3月の日本・カザフスタン外相会談にて同国及び中央アジア地域における物流回廊の輸送力増強、地域経済の発展等に向けて、「CAREC 物流回廊(ジャンブル州)整備計画」について円借款を供与する意向を表明した。

2. ビジネス振興

- カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン所在の日本人材開発センターにおいて、各国のビジネスマン向けのビジネス講座、日本語講座等を実施しており、年間1万名以上が受講している。ウズベキスタンにおいては、2007年3月に同センターのブハラ分室を開設した。

3. 知的対話

- 2007年1月に、①水資源と電力、②エネルギー供給ルートの多角化をテーマに第2回東京対話を実施した。
- 2009年2月に、環境をテーマに第3回東京対話を実施した。
- 2010年2月に、物流インフラ整備をテーマに第4回東京対話を実施した。

4. 文化交流・人的交流

- ウズベキスタン、キルギスに対しては2006年度以降、タジキスタンに対しては2009年度以降、中央アジア諸国の国造りのための若手行政官等の人材育成を目的とした無償資金協力「人材育成奨学計画」を継続的に実施している。
- 2009年を「日・中央アジア交流年」として、中央アジア諸国において、シンポジウム、邦楽公演、日本舞踊公演、和太鼓公演などを実施した。
- 2006年度から2009年度にかけて、中央アジア地域から1850名以上の研修員を受け入れた。

(了)